

2019年7月6日 日南市立北郷小中学校 出前講座

(宮崎大学・日南市教育委員会との協働企画)

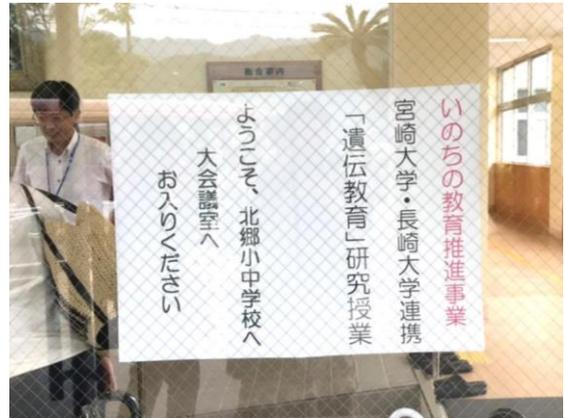
宮崎県日南市北郷小学校5年生とその保護者50名、日南市内の小学校の先生19名の皆さんと、小学生向けのプログラム(PTUの味、遺伝の木、特徴ゲーム)と一緒に楽しく勉強しました。

宮崎大学 野間口千香穂先生、荒武亜紀先生、後藤田綾子先生と学生さん3名、宮崎大学病院認定遺伝カウンセラー® 安達さん、伊井さんに学習サポートをしていただきました。

遺伝的特徴をみんなで観察し、自分にはない特徴を友達が持っていたり、グループに1人だけ持っている特徴に驚いたり、親子で比べてみたり、皆さんの元気な笑顔が印象的でした。

特徴ゲームの途中のエピソードを1つ紹介します。

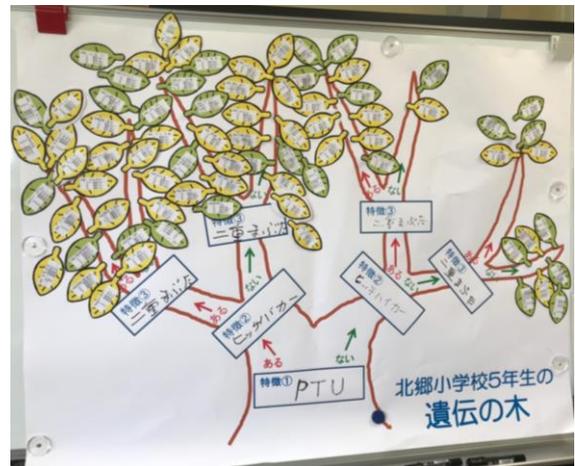
一人の児童から「世界中の人を集めたら、一人くらい同じ特徴を持つ人がいるんじゃない?」と質問がありました。とてもよい気付きだと思いました。「今日はたったの10個の特徴しか見てないけど、ヒトには目に見えるもの、見えないもの数えきれないくらいの特徴があるんだよ。100個とか1000個とかたくさん見たらどうなると思う?」と話すと、近くにいた児童も一緒に「そうか、だったら同じ人はいなくなるね」と想像力を発揮してくれました。



たくさんの方に参加して頂きました

終了後に、小学校の先生方と意見交換会を行いました。私達は、遺伝の言葉や正しい知識を伝えることが目的ではなく、遺伝の本質である「多様性」と「唯一性」を使って、命の大切さを伝えることを目的としていることを説明しました。今回は、短縮プログラムを使用したため、お示しできなかった“環境によって変わる特徴”について、感性や個人の能力に関する遺伝的な影響について、生命の尊厳を伝える教育に遺伝を手段として用いるに至った経緯など、幅広い内容のご質問を頂きました。小学校の先生方とのディスカッションは私達も初めての経験で、非常によい刺激を受けました。

あらためまして、貴重な機会を作ってくださいました日南市立北郷小中学校 田上校長先生、5年生担任 福島先生、日南市教育委員会教育長 黒木先生に感謝申し上げます。



どの枝にも葉っぱがついていますね

2019年7月8日 文責 森藤香奈子